

事務事業名	ひとり親家庭支援費給付事業	所属部局	保健福祉部	単位番号	5238							
		所属課室	子育て支援課	課長名	藤巻喜代子							
基本政策	IV 快適で心のかよいあう都市づくり	所属担当	児童	担当者名	細田一樹							
政策	17 社会福祉の充実	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目			
			01	一般	0	3	0	2	0	1	0	3
施策	28 児童福祉の充実	事業区分	<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業								
			<input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> 補助金交付事業								
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 15 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)	法令根拠	<input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他の事業								
			<input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金									
事業の内容 事務事業の概要	事業期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 小学校に入学する児童及び中学校に進学する生徒を養育しているひとり親家庭の父または母に対して入学支度金を支給し、ひとり親家庭の自立意欲及び児童又は生徒の勉学意欲を向上させ、経済的負担を軽減する。 支度金は入進学児童1人につき10,000円を支給する。	事業費の主な内訳 (22年度)	項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)						
			扶助費	980								
					計	980						

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

①活動	ひとり親家庭に入進学支度金を支給 98人
22年度活動実績	ひとり親家庭に入進学支度金を支給
23年度活動予定	ひとり親家庭に入進学支度金を支給
②対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	ひとり親家庭の父または母
③意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていくのか、どのように変えるのか)	ひとり親家庭の経済的負担の軽減。児童の勉学意欲を向上させる。 対象家庭に確実に支度金を支払う。
④上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	対象家庭の経済的負担が軽減され、安心して子育てができる。

⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
ア 支度金の支給件数	件	
イ		
ウ		
⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	名称	単位
ア ひとり親家庭の世帯数	世帯	
イ		
ウ		
⑦成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
ア 対象家庭のうち支払われた家庭割合	%	
イ 苦情件数	件	
ウ		
⑧上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
ア 安心して子育てができると答えた市民の割合	%	
イ		

(2) 事業費・指標の推移		単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算見込・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終 年度 (トータルコスト・目標)
年間トータルコスト	国庫支出金	千円							
	県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円							
	一般財源	千円	900	980	1,000	1,000	1,100	1,100	
	事業費計 (A)	千円	900	980	1,000	1,000	1,100	1,100	0
人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	
	延べ業務時間	時間	20	20	20	20	20	20	
	人件費計 (B)	千円	89	89	79	79	79	79	0
(A)+(B)		千円	989	1,069	1,079	1,079	1,179	1,179	0
活動指標		ア 件	90.0	98.0	100.0	110.0	110.0	110.0	
対象指標		ア 世帯	979.0	979.0	979.0	979.0	979.0	979.0	
成果指標		ア %	94.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	
上位成果指標		ア %	31.5	42.2	42.2	42.2	42.2	42.2	

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	合併後、ひとり親家庭の支援策としてH16年2月に要綱を制定した。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べどう変化しているか?また、今後の予測は?	ひとり親家庭でも小学校や中学校に入学する子がいる家庭が対象なので、毎年受給件数は変動しているが、増加傾向にある。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	「取り組みしている」⇒【内容】 <input checked="" type="checkbox"/> 「取り組みしていない」⇒【理由】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	対象者が限られ、且つ、入学・進学時期に合わせた事務のため執行期間も12月から3月までに限定されることから、特に改善することがない。
③ H 22年度に実施した改革改善の内容	

事務事業名	ひとり親家庭支援費給付事業	所属部	保健福祉部	所属課	子育て支援課
-------	---------------	-----	-------	-----	--------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 ひとり親家庭の経済的支援を行っている。
	②公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？民間やNPOに委ねることは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 経済的に厳しいひとり親家庭に対しての支援で、扶助費の支給事業なので民間等には委ねられない。
	③維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 低所得のひとり親家庭に限定した支援策のため、対象・意図は適切である。また、児童・生徒の入進学に要する費用を軽減するためにも維持・継続することは妥当である。
有効性評価	④成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 山梨県のひとり親家庭の入進学支度金制度についても、対象者の利便性を考慮し一緒に受付業務も行っているため、現段階では成果が向上する余地はない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 子どもの入進学時は出費が大きいので、支度金がないとひとり親家庭の経済的負担が大きくなってしまう。
効率性評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 扶助費のみの支出のため、事業費の削減余地はない。
	⑧人件費の削減余地 成果を下げず人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 職員1名で事務を行っているため、人件費の削減余地はない。
	⑨受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 「南アルプス市ひとり親家庭医療費助成に関する条例」に基づき認定されたひとり親家庭を対象にしているため公平公正である。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	ひとり親家庭にとって、子どもの入進学時は出費も多く、必要な事業である。
②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)…複数選択可	(3) 改革・改善による方向性													
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果)	<input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果)													
<input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果)	<input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果)													
<input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果)	<input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)													
(2)改革改善案について	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">成 果 水 準</td> <td colspan="3">コスト水準</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td></td> </tr> </table> <p>※ 廃止・休止の場合は記入不要</p>	成 果 水 準	コスト水準			削減	維持	増加	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
成 果 水 準	コスト水準													
	削減		維持	増加										
	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>										
	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>												
(4)改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5)事務事業優先度評価結果													
①	成果優先度評価結果													
②	コスト削減優先度評価結果													
③	⑩													